



ニュースリリース 平成 26年 11月 7日

「ふるさと投資」を活用した新事業創出支援の取り組みについて



常陽銀行(頭取 寺門 一義)は、このたび、地域活性化につながる新事業の創出・成長を支援するため、「ふるさと投資」*ファンドの組成・販売を行うミュージックセキュリティーズ株式会社(代表取締役 小松 真実)と業務提携いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

今回の業務提携は、「ふるさと投資(地域活性化小口投資)」の活用を希望するお客さまを同社にご紹介し、お客さまの新たな資金調達ニーズにお応えすることで、地域活性化につながる新事業の創出・成長を支援するものです。

当行は、今後とも、地域の新事業創出に向けた取り組みを支援し、地域経済の成長と活性化に貢献してまいります。

*インターネット等を活用して個人から小口投資を募り、地域資源を活用して地域の活性化に取り組んでいる事業者を支援する仕組みのことです。「日本再興戦略」(平成26年6月24日閣議決定)における「地域のリソースを活用したプロジェクト支援」の代表的な金融手法としてクローズアップされています。

記

1. 提携先	ミュージックセキュリティーズ株式会社
2. 提携内容	当行は、「ふるさと投資」ファンドの活用を希望する企業を紹介します。
3. 「ふるさと投資」とは	インターネット等を活用して個人から小口投資を募り、地域資源を活用して地域の活性化に取り組んでいる事業者を支援する仕組みのことです。 平成26年10月31日に設立された「ふるさと投資連絡会議」(事務局:内閣官房地域活性化統合事務局)では、地方公共団体・地域金融機関、学識経験者等がメンバー*となり、ふるさと投資の活用普及・推進を目指しています。 ※ 当行はこの連絡会議メンバーとなっております。

【ご参考】 ファンドスキーム図

